

# 明日青ニュース



## 第3回 善行篤行慈愛表彰式

令和2年12月22日に善行篤行慈愛表彰式が行われました。これは大場吉樹先生の遺志を受け継ぎ、今年度で3回目となる表彰式です。コロナ禍の影響により、半年遅れの表彰式となりました。各行政区や学校から推薦された個人7名と1団体が表彰を受けました。今回は、地区での活動や行事、学校行事に意欲的に参加した皆さんや、豪雨被害を受けた丸森小学校に義援金を送った生徒会の皆さんが表彰されました。このような行いに、役員会にご参加された多くの皆様から賞賛の大きな拍手をいただきました。今年も保護司の佐々木由美子さんの生演奏を添えていただき、素晴らしい雰囲気の中で表彰式が行われました。表彰式後に撮影した皆さんの表情もにこやかなものとなりました。

### 令和2年度 大河原町善行篤行慈愛表彰者

番号	表彰推薦者氏名	所属校	推薦地区・学校
1	高橋 衣緒菜	大河原中学校1年	桜町3区
2	佐久間 妃依	大河原中学校1年	桜町3区
3	中村 圭汰	国立仙台高等専門学校1年	桜町3区
4	遊佐 乃愛	宮城県白石高等学校1年	大河原中学校
5	鈴木 陽菜乃	常盤木学園高等学校1年	大河原中学校
6	馬込 奈々美	宮城県大河原商業高等学校1年	大河原中学校
7	佐藤 歩瑠	国立仙台高等専門学校1年	金ヶ瀬中学校

番号	表彰推薦団体名	代表	代表者名	推薦地区・学校
8	金ヶ瀬中学校生徒会	3年	関谷 歩夢	金ヶ瀬中学校

表彰状が手渡されました



【齋町長から八名全員に賞状が手渡されました】

# 思いやりで 横断歩道の一時停止率アップを！

JAF調査で、宮城の横断歩道での車の一時停止率が5,7%（平均21, 3%）で全国最下位だそうです。宮城、東京、岡山の順にワーストになっています。確かに歩行者の中には横断歩道近くで話をしたり、携帯を操作していたりする人を目にするのがあり、ドライバーにとって歩行者が横断歩道を渡るかどうか判断が難しい場面もあります。

さて、大河原南小学校では、横断歩道で立ち止まり、手を上げるのは勿論、渡り終えた後に会釈をするのが伝統になっています。ドライバーも「止まってよかった。」と思える微笑ましい光景がそこにはあります。

横断歩道の一時停止率アップのヒントは、ここにヒントがあると思います。横断歩道で立ち止まり、手を上げ合図をする。「ありがとう」の会釈をする。大河原南小学校の取組を各小・中学校、町全体で行うことができれば、一時停止率もアップすると思います。まず、大人が率先して模範を示していきましょう。



【停車したドライバーにお辞儀をする子どもたち】

## 避難所開設訓練

### 大河原中学校防災プロジェクトチーム”MAS”

令和元年の台風19号では、大河原町内でも被害があり、大河原中学校に、約350名の方が避難しました。その避難者の中にいた大中学生の「僕たちにも何かできませんか?」という言葉が、きっかけとなり、「大河原中学校防災プロジェクトチーム”MAS”」が誕生しました。

MASとは”Mutual Assistance By Students（中学生による共助）の略です。生徒自らが、地域の中心となり、共に助け合うための技術や精神を身に付けたいという思いが詰まっています。これまで、大河原町や地域の協力を得て、2度の避難所開設訓練を実施してきました。また今年度は、MASのメンバー8名が宮城県防災指導員の資格取得に挑戦し、合格しました。防災プロジェクトMASは、地域を思う生徒のボランティアで組織しています。今後もますます発展していきMAS（ます）



## コロナ禍での親子会活動

### （幸町親子会活動の取組）

令和2年度は、大河原町内どの地区の親子会活動も自粛せざるを得ない状況が続いています。そのような中、幸町親子会では、コロナ感染対策を講じながら、3つの活動を行いました。(1)大河原駅東側の花いっぱい運動(代表のみ)、(2)中島公園で遊ぼう(外での活動)、(3)サンタさんから菓子のプレゼント(宅配)です。感染対策を講じた上で、工夫して活動に取り組んでいます。



11/23 公園で遊ぼうの様子

【自己紹介の後、各種ゲームや大縄跳びをして焼きマシユマロなどを味わいました。みんな仲良く活動し楽しい時を過ごすことができました。】